

歴女がゆく

発見！私のイチ押し仏像 VOL 1

1

重要文化財

木造如意輪観音坐像

平安時代／観心寺蔵



仏像 ZOOM UP! +

祈願するものの煩悩を輪宝で打ち破り、如意宝珠によって福德を与える尊として信仰されてきた観音菩薩坐像。近づいて見ると、今でも唇に赤みが残るなど、もとは鮮やかな彩色像であったことがわかる。



国宝の本堂には、本尊の木造如意輪観音坐像が安置されています。



ほかにも霊宝館には重要文化財の仏像がたくさん安置されていて見どころがいっぱいです！



国宝 木造如意輪観音坐像

観心寺の仏像といえば、平安時代の密教美術の最高傑作として国宝木造如意輪観音坐像が有名ですが、観心寺にはもう一鉢、如意輪観音坐像（写真①②）があります。この仏像は、本尊像を彫刻する前に試作されたものと伝わり、秘仏のため普段見るできない本尊像の前に安置し、「お前立ち」としての役割を担ったと考えられています。

仏像は、観心寺の霊宝館で常時公開されていますので、年に2日間（4月17・18日）しか公開されない秘仏、国宝の如意輪観音坐像と併せてご覧ください（3ページ参照）。

仏像まめ知識 ① 仏像の種類

仏像の種類は、大きく分けて如来、菩薩、明王、天部の4つ。如来は悟りを開き、出家した後の釈迦の姿を示し、着衣は簡単な衣をまとっています。これに対し出家する前の釈迦の姿を示すのが菩薩です。釈迦はインドにあった国の王子として生まれたので、菩薩は宝冠をはじめとする装身具を着けています。明王は如来の命を受け、人々を教化し救済する仏で、異形の恐ろしい姿をしています。天部は天上界に住み仏法を守護する神々のことです。



今月の歴女

大江綾子さん

平成24年4月から市役所で文化財を担当。「歴史はわかっているようで謎だらけ。その謎をひとつひとつ解明していく過程が大好き」という大江さんは笑顔が素敵な女性です。



河内長野駅から南海バスに乗り、バス停留所「観心寺」下車▶午前9時～午後5時▶入山料 大人300円、小中学生100円



広報かわちながの

平成25年(2013年)4月号(No.1074)